

▶ 好調維持! 第117回 (2022年度) 国家試験の結果

国家試験の結果をご紹介します(表参照)。新卒 113 名中 111 名が合格し、合格率 98.2% (全国平均 94.9%) (82 校中 14 位) でした。既卒者を合わせた全体では、118 名中 114 名が合格し、合格率 96.6% (全国平均 91.6%) (82 校中 10 位) といった好成績でした。

国試の順位を上げるために、卒業試験の合格点を操作して留年者を増やす大学もありますが、本学はそのような方法を取りません。予め、年度初めのガイダンスで「教務委員長が卒業試験 1 回目と 2 回目から算出した点数が 74 点以上なら、卒業試験 2 回目での卒業を許可します。また、卒業試験 3 回目(再試験)に回った場合、卒業試験 1、2 回目と卒業試験 3 回の点数から算出した点数が 72 点以上なら卒業を許可します!」と合格基準を学生に予告しました。

これは卒業試験と国家試験の成績との間に強い正の相関関係があるからできることです。医学部の教員は丁寧に試験問題(解説を含む)を作成し、講座を越えてブラッシュアップ(内容の確認・修正)を行いました。とりわけ医学教育企画室の室員は、卒業試験の精度管理にエネルギーを注ぎ続け、年度末の教授会では、予告通りの点数で卒業判定を行いました。

6 学年の担任(飯塚成志教授、吉川哲史教授、私)と学務課職員は、感染防御についての注意喚起を繰り返しながら、学生を支援しました。また、メンタル不調をきたした学生を早めに見つけることに留意しました。一方、学生は 6 学年 6 月から卒業までの授業内容、特に予備校が作成する国家試験対策講座の内容を学生主体で計画しました。以前よりも学生と教職員の信頼関係が増し、大学病院での研修を望む学生が増えたことに繋がっていると思われます。

医学教育企画室室長
臨床総合医学 教授 **大槻 眞嗣**

国家試験合格率						
	新卒者	合格者数	合格率	国試受験者総数	合格者数	合格率
第117回 (2022年度)	113名	111名	98.2%	118名	114名	96.6%
第116回 (2021年度)	113名	109名	96.5%	117名	112名	95.7%
第115回 (2020年度)	104名	102名	98.1%	111名	107名	96.4%
第114回 (2019年度)	112名	106名	94.6%	120名	113名	94.2%

2023年就職状況一覧表							
	病院(本学)	病院(他大学)	病院(一般)	進学(本学大学院)	進学(大学院)	その他	合計
人数	31名	19名	57名	0名	0名	6名	113名
%	27.4%	16.8%	50.5%	0.0%	0.0%	5.3%	100%

2022年度卒業生の進路 (研修先)					
愛知県	藤田医科大学病院	愛知県	南医療生活協同組合総合病院南生協病院	埼玉県	秀和総合病院
	藤田医科大学ばんだね病院		稲沢厚生病院	東京都	総合東京病院
	藤田医科大学岡崎医療センター		稲沢市民病院		東京都立多摩総合医療センター
	大学病院		岡崎市民病院	神奈川県	小田原市立病院
千葉県	東京歯科大学市川総合病院		公立西知多総合病院	長野県	伊那中央病院
	東邦大学医療センター佐倉病院		公立陶生病院	岐阜県	岐阜県立多治見病院
東京都	慶應義塾大学病院		春日井市民病院		岐阜市民病院
	東京医科大学病院		聖霊病院		松波総合病院
	日本医科大学付属病院		西尾市民病院		大垣市民病院
神奈川県	昭和大学横浜市北部病院		中部ろうさい病院		中部国際医療センター
	昭和大学藤が丘病院		津島市民病院	静岡県	静岡市立清水病院
新潟県	新潟大学医歯学総合病院		日本赤十字社 愛知医療センター名古屋第一病院		中東遠総合医療センター
静岡県	浜松医科大学医学部附属病院		豊橋市民病院		浜松赤十字病院
愛知県	名古屋市立大学病院		名古屋医療センター	三重県	鈴鹿中央総合病院
三重県	三重大学医学部附属病院		名古屋記念病院		国立病院機構三重中央医療センター
京都府	京都府立医科大学附属病院		名古屋掖済会病院	滋賀県	長浜市民病院
長崎県	長崎大学病院	北海道	岩見沢市立総合病院	大阪府	ベルランド総合病院
	一般病院		勤医協中央病院		大阪府済生会中津病院
愛知県	JA愛知厚生連 海南病院	栃木県	上都賀厚生農業協同組合連合会 上都賀総合病院	兵庫県	赤穂市民病院
	JA愛知厚生連 江南厚生病院		那須赤十字病院	鹿児島県	いまきいれ総合病院